

— 2026年度 —
ジェンダーフォーラム
映画上映会＋トーク

これからの 私たち

All Shall
Be Well



日時

2026年12月5日(土)
14:30～17:00



場所

池袋キャンパス 5号館 5121教室

お申込みはQRコードから



<https://s.rikkyo.ac.jp/l091abgc>

申込〆切 12/3(木) 定員 200名

「なんとかなるでしょう」。

そう思っていた二人に、その日は突然やってきた。
長年連れ添った60代女性カップルの物語。

今年度の映画上映会では、ベルリン国際映画祭2024にて、
優れたLGBT映画に与えられるテディ賞を受賞した

『これからの私たち - All Shall Be Well』を上映します。

レイ・ヨン監督が、同性愛に対する偏見が根深く残る香港の実状と、
深刻な住宅不足や就職難、経済格差などの社会問題も浮かびあがらせてます。
原題は『All Shall Be Well』。この言葉は、観終えたあとにどう響くでしょう。

上映後は、女性同士の親密な関係の歴史と現在を研究する
赤枝香奈子氏を迎えて、会場の皆さんと語らいます。

トークゲスト



赤枝香奈子氏

追手門学院大学社会学部教授。
専門は社会学、ジェンダー・
セクシュアリティ研究。

『近代日本における女同士の親密な関係』(角川学芸出版、2011年)、
『セクシュアリティの戦後史』(京都大学学術出版会、2014年、共著)、
『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』(法律文化社、2018年、共著)、
「レズビアン青春映画としての『櫻の園』」(『クイア・シネマ・スタディーズ』晃洋書房、2021年)、
「女性同士の《結婚》」(『クイア・スタディーズをひらく2』晃洋書房、2022年)、
「性的マイノリティと結婚／パートナーシップ制度：同性婚はいかにして
想像可能なものとなったのか」(『社会学評論』76巻3号、2025年)などの著書、論文がある。

主催・問合せ：立教大学ジェンダーフォーラム



03-3985-2307



gender@rikkyo.ac.jp



<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>

